

緑小学校・最上小学校・入船小学校

# 統合協議会ニュース

《第4号》平成28年12月発行



## 第4回統合協議会を開催しました

11月24日に緑小学校で第4回統合協議会を開催しました。統合校の校名が「小樽市立山の手小学校」に決定したことを受け、山の手小学校の校歌及び校章の作成や学校イメージについて協議しました。また、児童交流や通学の安全確保に向けた取組について報告がありました。



## 山の手小学校の校歌と校章の作成



日下部部会長(最上小教頭)

校名・校歌・校章に関する部会の日下部部会長から、山の手小学校の校歌及び校章の作成について、様々な作成方法によるメリットやデメリット、他校の事例を参考に意見交換を行い、校歌の歌詞と校章デザインは公募し、校歌の作曲は適任者に依頼する考え方で、校歌と校章デザインの作成要領や応募用紙、作曲依頼候補者等の部会案を作成したことについて説明がありました。協議の結果、部会案のとおり作成要領等が了承されました。

### <山の手小学校の校歌（歌詞）と校章デザインを募集します>

山の手小学校の地域や風土、歴史や教育資源などをモチーフに、本校で学ぶ児童の誇りや喜びを表現し、小学校として希望に満ちた明るく親しみやすい校歌の『歌詞』と学校のシンボルマークである校章デザインを募集します。

応募方法：平成29年1月31日(火)（必着）までに、応募用紙又はA4判用紙に、

- ◎ 校歌の歌詞を応募する場合は、  
…①歌詞（3番以内）、②歌詞に込めた意味や思いなど、③住所・氏名・年齢・電話番号・これまでの採用実績（他の小・中学校での校歌の歌詞の採用実績を記載）
- ◎ 校章デザインを応募する場合は、  
…①校章デザイン、②校章デザインの意味やモチーフ、③住所・氏名・年齢・電話番号・これまでの採用実績（他の小・中学校での校章デザインの採用実績を記載）

以上を明記し、郵送、持参又はメールで統合協議会事務局（〒047-0024 花園5-10-1 教育委員会）へ  
※応募に当たっては小樽市ホームページに記載されている注意事項等を必ず御確認ください。

（応募用紙は小樽市ホームページから入手できます。[小樽市 学校再編](#)で検索）

## 通学の安全確保

学校支援部会の嘉山部会長から、通学の安全確保に向け、山の手小学校への主な通学経路となることが見込まれる道路や注意箇所について、夏期の道路状況における現地確認を下記のとおり実施した旨報告がありました。今後、冬期の現地確認を1月下旬から2月上旬に実施し、2回の現地確認の結果を踏まえ、注意箇所等の対策の検討や山の手小学校の通学安全マップを作成していくとの説明がありました。

<現地確認実施日>

- ・平成28年10月12日（水）入船小学校校区
- ・平成28年10月13日（木）緑小学校校区
- ・平成28年10月14日（金）最上小学校校区



嘉山部会長(入船小教頭)

# 山の手小学校イメージと児童交流



加藤部会長(緑小教頭)

学校づくり部会の加藤部会長から、山の手小学校の学校づくりの基本的な考え方、地域・学校・家庭の役割や目指す子ども像など特色ある取組の方向性を記載した「山の手小学校イメージ」を部会案としてまとめた旨報告があり、協議の結果、了承されました。

また、児童交流については、12月5日から7日の間に、統合に関係する緑小学校、最上小学校の1年生から4年生が学年単位で入船小学校を訪問し、3校の児童で交流授業を行う予定である旨説明がありました。

**■山の手小学校 イメージ■**

**■学校づくりのコンセプト【合い言葉】■**

天狗山のふもと 地域と共に育つ 学びあふれる学校

**【基本的な考え方】**

歴史ある緑・最上・入船小学校の3校が統合して平成30年4月にスタートする山の手小学校。豊かな自然に囲まれ校区に大学などの教育施設を持つ恵まれた地域環境を最大限に活用し、これからの時代を担う人材育成に向けた学校づくりを進めます。

**■『基本方針』■**

- ① 共に育つ学校…子どもの豊かな学びを目指し、学校・家庭・地域が協力・協働し、共に成長する学校
- ② 連携・協力…家庭や各町内会及び小樽商科大学や近隣幼保・小中高と教育活動における連携・協力
- ③ 特色ある教育…学習の基礎となる国語の力を伸ばし、子どもたちが歌声を通して一体となる取組  
天狗山や於古発川、小樽公園等をフィールドにした自然体験学習や体力向上の取組

**■『共に育つ学校』を目指す地域・学校・家庭の役割■**

地 域	学 校	家 庭
<b>見守り ほめて 励ます 地域</b> ○地域の教育資源による支援 ○見守り活動、地域防災 ○地域行事への参加 ○学校支援ボランティア 〓コミュニティ・スクールの導入	<b>学び続け 未来を切り開く教師</b> ○情熱と使命感をもった組織的な学校運営 ○協働的な研究による自己研鑽 ○家庭、地域との積極的な連携 〓児童の『主体的』『対話的』『深い』学びを大切に授業づくり	<b>認めて ほめて 励ます 家庭</b> ○家庭学習習慣、基本的な生活習慣の定着 ○学習ボランティア、PTA活動等における支援 〓子どもと一体感のある家庭づくり

●『コミュニティ・スクール 山の手小学校』学校運営協議会  
 ●『地域連携カリキュラムの開発・実践』保護者や地域、幼保、中・高・大学との連携

**■『目指す子ども像』と具体的な取組■**

学校づくり【知】	心づくり【徳】	体づくり【体】
<b>自ら進んで 生き生きと 学び続ける子</b> ○基礎基本の定着、学習規律の徹底(少人数指導、外部人材の活用) ○国語科を柱とした研究の推進 ○ICT機器の有効活用 ○関係機関と連携した特別支援教育の充実 等々	<b>礼儀正しく あいさつが しっかり出来る子</b> ○道徳教育の工夫改善 ○読書活動の工夫・環境整備 ○あいさつ等、基本的な生活習慣の育成 ○歌声活動による感性と表現力の育成(全校歌声づくりの取組) 等々	<b>元氣いっぱい たくましい 心と体をつくる子</b> ○体力向上に向けた継続した取組 ○自然環境や公的施設の有効活用(天狗山登山・スキー、マラソン) ○外部人材を活用した健康教育の充実(食育・健康教室) 等々

<b>変化に対応した教育づくり</b> ○地域施設・人材活用によるふるさと教育の推進(能楽堂・図書館・美術館・文学館等) ○教育資源を生かした国際理解教育の推進(ALTの活用、商大留学生との交流) ○地域の自然を活用した環境教育の推進(於古発川、天狗山、小樽公園等) 等々	<b>信頼に応える学校づくり</b> ○保護者・地域との連携による学校づくりの推進(読み聞かせ、放課後学習、スキー、水泳) ○地域や保護者の声を生かす学校評価の充実 ○学校種間の連携・接続の推進(近隣幼稚園や保育園、小中高、小樽商科大学) ○教職員の資質・能力の向上(公開研究会の開催、各種研修会の取組) 等々
---	---

**■『地域連携』のイメージ■**

小樽商科大学

天狗山・於古発川

近隣幼・保、小中高

小樽・入船・最上公園

能楽堂・図書館・総合体育館

山の手小学校

各町内会

保護者・各家庭

## 問合せ先

第5回統合協議会の日程は、決まり次第、市ホームページでお知らせします。

事務局 小樽市教育委員会 適正配置担当 電話 0134-32-4111 (内線 537) FAX 0134-33-6608  
 メール [gakko-tekisei@city.otaru.lg.jp](mailto:gakko-tekisei@city.otaru.lg.jp)

小樽市 学校再編 で検索